

公益と共益の事業区分

姫路JCの事業が「法定」された「要件」をどのようにしたら満たせるのかを、公益事業分類(公1, 公2)、共益事業分類(他1, 他2, 他3)、更に公益事業では区分A(目的)区分B(手法)毎に説明させていただきます。

[姫路JCにおける公益事業分類]

公1	
事業内容	地域社会の健全な発展に貢献し、明るく豊かな社会づくりに必要となる人材を育成するための「ひとづくり」事業
趣旨	本事業は、地域社会の発展を担う「ひとづくり」を目的としています。具体的には、地域や組織を牽引する人材を育成するために必要な指導者としての資質と指導力の向上を図るとともに、豊かな人間性を滋養するような事業や、地域の次世代を担う子供たちに、学校では学ぶことのできない、また経験することでしか身に付かないようなことを実際に経験してもらうようなことで見聞を広め、広い視野と豊かな人間性をもった人材を育成します。

公2	
事業内容	まちづくりに携わる組織や個人に触れることで、地域の人々の文化意識の高揚を図り、文化の香りの高いまちの創生を図る「まちづくり」事業
趣旨	まちづくりに携わる組織、個人との協働を通じ、それぞれの特色や感性個性が反響しあう場、及び、市民がその場に参画する機会を創出することで、あらたなまちづくりの担い手の輪を広げ、まちづくり運動のさらなる活性化を図り、より多くの市民が街を愛する心を育む事業を行います。

[姫路JCにおける共益事業分類]

他1	
事業内容	会員研修事業
趣旨	地域社会の一員である青年会議所の会員が、研修を通じて研鑽を深め、自己の成長を促進していくことは、地域社会の発展に繋がるものと考えます。そこで、姫路青年会議所では、会員各自の資質向上を図り、リーダーシップを身に着ける機会として、外部講師を招聘しての経営論・精神論等についての講演、会員主導での自己啓発セミナー等の事業を、青年会議所のメンバー限定で定期的に行います。 ・組織力向上例会(テーマ:公益組織化について会員に周知させる等) ・研修特別委員会(年12回、テーマ:指導者育成プログラム等)

他2	
事業内容	会員間、正会員と特別会員、正会員と家族との懇親事業
趣旨	我々が青年会議所の一員として活動を行うためには、会員全員が同じ目標に向かっていくことが大変重要なことであると考えます。また、会員のみならず、各々の家族同士が繋がることで、より深い人間関係が構築できるものと考えます。それらを実現するためにも、会員間の共通認識や会員相互の意思確認を行う場としての懇親事業が必要となります。交流で生まれた会員相互のパートナーシップを大切に、組織活動の円滑化を図ることがこの事業の目的であります。 ・家族例会(テーマ:会員間の家族交流)

他3	
事業内容	国際青年会議所、公益社団法人日本青年会議所、国内・国外の青年会議所、その他諸団体との連携、相互理解と親善を増進する事業
趣旨	姫路青年会議所は、国際青年会議所及び日本青年会議所に所属することで、地域の垣根を越えた事業に取り組んでおります。また、明るい豊かな社会を作るために日々活動しておりますが、地域には様々な組織が存在し、地域の発展のために活動しています。そのような組織の事業や、地域の事業、行政の活動に参加することで地域に溶け込み、ネットワークを育み、会員相互の交流を図る機会としております。 ・公益社団法人日本青年会議所全国会員大会のブース出展(姫路の魅力を伝える) ・公益社団法人日本青年会議所近畿地区協議会会員大会のブース出展(姫路の魅力を伝える)